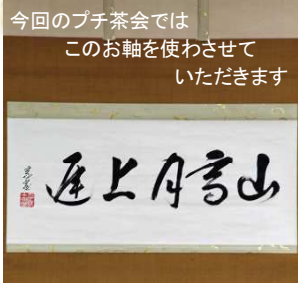


ギャラリーさん
(題字・三輪休和)
118号 令和元年
2019年9月発行

日	1	仏滅	定休日
月	2	大安	
火	3	赤口	
水	4	先勝	
木	5	友引	
金	6	先負	
土	7	仏滅	
日	8	大安・白露	定休日
月	9	赤口	
火	10	先勝	
水	11	友引	
木	12	先負	プチ茶会
金	13	仏滅	プチ茶会
土	14	大安	プチ茶会
日	15	赤口	定休日
月	16	先勝・敬老の日	定休日
火	17	友引	
水	18	先負	
木	19	仏滅	
金	20	大安	
土	21	赤口	
日	22	先勝	定休日
月	23	友引・秋分の日	定休日
火	24	先負	
水	25	仏滅	
木	26	大安	
金	27	赤口	
土	28	先勝	
日	29	先負	定休日
月	30	仏滅	



今回のプチ茶会では
このお軸を使わせて
いただきます

淡々斎 横物 山高月上遅
山が高くて月があらわれるのが遅い。条件が厳しいと事が整うのも遅いの意。転じて大人物は長い年月をかけて出来上がること、いわゆる大器晩成をいう。また、一念未生の寂然とした状態を意味するとも解される。

出典 天聖仏灯録
月に関する禅語が多い中、松阪では竹川家に保存されている玄々斎「月白風清」が有名です。広間の床脇に書かれた酔中書良き時代を感じさせます！

9/ 12 木 13 金 14 土
10:00am ~ 4:00pm

大蔵出し市

トオル社長の珍道中 「出雲大社・足立美術館」に行ってきました

お盆休みを利用して出雲大社・足立美術館に行ってきました。4回目になりますがお天気にもめぐまれ大きさ日本一の日の丸動画も綺麗に撮れました。伊勢神宮の日の丸とはまた違う趣がありますね(^ ^) お詣り前に出雲大社について少々。出雲大社におまつりされている大国主大神様は、「だいくさま」として慕われ、日本全国多くの地域でおまつりされています。また「国づくり」の大業で多くの救いを与えて下さったことが「えんむすび」の神として人々に慕われるようになったようです。先月号で天神信仰菅原道真公をとりあげましたが、天照大神などいる高天原の神を「天津神」。大国主大神は天孫降臨以前からこの国土を治めていたとされる土着の神「国津神」とされている。「津」は現代語の「の」と読むとわかりやすいようです。参拝の後、ご縁横丁と呼ばれる新スポットを歩きました。伊勢神宮のおかげ横丁を小さくした感じでお土産、出雲そばなど出雲のいいもの美しいものお腹と心を満たしてくれました。

次に足立美術館、今回は庭園と海・山十題についてです。足立美術館の庭園は、来館者を迎える歓迎の庭、柔らかな苔の曲線が美しく赤松や紅葉が風情を添える苔庭、峰々の稜線を背景にワイドに広がる枯山水庭、年中水温の変わらぬ湧水で悠々と鯉の群れる池庭、横山大観の絵画をイメージした白砂青松庭などから構成される。また館内の窓がそのまま「生の額絵」になる、来園者には、あたかも一幅の山水画が掛かっているかのように庭園絵画が楽しめます。創設者 足立全康は、植栽の松や石を全国をまわって、自分の眼と足で萬集した。そして91歳で亡くなるまでの生涯を、庭づくりに心血を注ぎ、今日の庭園を築きあげた。アメリカの日本庭園専門誌は、2003年より連続日本一に認定し、フランス旅行ガイドでは「三つ星」として掲載している。海・山十題について「海に因む十題」は、必ずしも日本の海だけをテーマにしたものではなく、波形の変化に妙味を見ることができ、特に「海潮四題・夏」は茫とした月明かりの中に、重々しくうねり岩に砕け散る波を描いている。「山に因む十題」は、すべて富士山をテーマにしている。①「乾坤輝く」は壮麗なたずまいをみせる霊峰と真紅に燃え上がる旭日を象徴的に描き②「雨霽る」は霧雲が晴れ上がっていく際の山脈の流動感を、気韻高い墨調で表し、③「龍躍る」は写実的な趣をもつ富士に、想像上の動物である龍をからめて描いたところが大胆で興味深く、④「霊峰四題・夏」は暗雲が立ちこめる中、雲間から群青色の富士が覗いており、夏の涼感を見事に生み出している。足立全康の日本画萬集の情熱には定評があり、一代で大コレクションをつくりあげ、数々の逸話が残されている。中でも昭和54年に北沢コレクションの「紅葉」や「雨霽る」や「霊峰四題・夏」をはじめとする大観の作品群を一括購入した時は、当時の管財委員会の方々を泣き落とすかのように当館に決めてもらったと言われている。自叙伝で「大観の魅力を一ひと言で言うなら、着想と表現力の素晴らしさにあると思う。それは恐らく誰も真似できないだろう。常に新しいものに挑戦し、自分のものとしていったあの旺盛な求道精神が、その作品に迫力と深み、そして構図のまとまりの良さを生んでいる。100~300年にひとりの画家である」と

いつも華乃会を ご愛用賜り厚く御礼申し上げます。十月より消費税増税となりますが、当社といたしましては商品の値段を出来る限り据え置きとさせていただきます。所存でございます。つきましては、かねてより十数万円以上お買い上げのお客様にお渡ししておりました商品券を、九月をもちまして終了させていただきます。よろしくお願いいたします。



足立美術館 白砂青松庭



令和元年 推奨商品 季節の細水指をお買得価格でご紹介です

<p>楽齋 信楽雁絵細水指</p> <p>¥41,000 → ¥28,000</p>	<p>手塚祥堂 染付葡萄細水指</p> <p>¥56,600 → ¥38,000</p>	<p>加藤喜一 弥七田織部細水指</p> <p>¥20,200 → ¥14,000</p>
--	--	---



白髭草 シラヒゲソウ
箱根湿性花園にて photo by SA

.. 編集の窓 ..
本州から九州の山地の湿地に生える草丈は十センチ〜三十センチ位。ユキノシタ科の多年草で、花期は八月〜九月。和名は白色の花弁の縁が糸状に切れ込んでいる様子を、髭に見立てたことに由来する。花径は二センチ程。花の様子はカラスウリに、蕊の様子はウメバチソウにどこか似ている。日本固有種。

根性紫蘇 伝説では中国の若者が食中毒で死にかけたときに、紫蘇の葉草を煎じ紫の葉を作ってもらった薬でたちまち回復したとのこと。地植をするとあっという間に広がるのですが、名前の通り強いのか何処からか流れてきた種が排水溝ですすくすく育ちました。

ギャラリー森田ホームページ
右記のQRコードを読み込み
アクセスしてください！

月刊「ぎゃらいいさん」編集プロジェクト

Instagram
Instagram

QRコード